

令和6年度広島県食育推進功労者表彰（知事表彰）の表彰式について

1 趣旨

本県の食育の推進に多大な御貢献があり、特に功労のあった方に対し、その功績をたたえるため、次のとおり表彰式を行います。

2 表彰日時

令和6年10月22日（火） 午後2時00分～午後2時15分

3 表彰場所

県庁 北館2階 第一応接室
（広島市中区基町10-52）

4 表彰者

山根副知事

5 被表彰者等

5名（別紙のとおり）

- （1）食生活等分野（団体2）
- （2）学校等教育分野（個人1、団体1）
- （3）農林水産業分野（団体1）

6 内容（表彰式次第）

- ・開会の辞
- ・表彰状の授与
- ・あいさつ
- ・閉会の辞
- ・記念撮影

※すべて公開で行います。

令和6年度広島県食育推進功労者表彰 表彰者一覧（分野別五十音順 敬称略）

1 食生活等分野（団体2）

区分	対象者（年齢）	概要
団体	阿品台東小学校区 地域学校協働本部 あじな東っ子応援 隊 (平成25年設立)	<p><推薦元：廿日市市健康福祉部子育て応援室></p> <p>地域のボランティアが小学校の家庭科室を活用し、朝食を児童へ提供している。健康的な生活リズムや食習慣の定着化、孤食の解消、ボランティアの声掛けにより、児童は地域の大人に見守られていることを実感し、安心して楽しく学校生活を送るきっかけとなっている。</p> <p>ボランティアが運営、小学校が場所の提供と食材の受取り、事業の周知を、食品関連事業者（協力企業）が食材の提供をするといった、多様な主体が役割を分担し、連携することで継続的に事業を実施している。</p> <p>令和元年度に県が行ったアンケートから、「モーニングひろばをきっかけに、早く登校するようになった。」、「家でも朝食を食べるよう意識するようになった。」、「朝食を食べる必要性がわかってきた」といった成果がみられた。</p>
団体	西條商事株式会社 (昭和26年設立)	<p><推薦元：一般社団法人広島県食品衛生協会東広島支所></p> <p>社是「愛と真実の人道を基とし、常に人々の健康増進と、生活文化の向上に奉仕する」に基づき、地域での食育活動を実施している。</p> <p>生産者による農場の様子や野菜の成長過程についての学習、収穫体験、採れたて野菜の試食の他、ソースメーカーの協力を得て、広島の食文化である「お好み焼き」の調理体験を行うなど、五感を育み、食の楽しさを積極的に引き出す取組を行っている。</p> <p>これらの、「生きる力」、「生涯を通じた心身の健康を支える取組」は、地域の食育活動に大きく貢献している。</p> <p>また、食の循環の場を提供することで、生産者と消費者の橋渡しにもなっている。</p>

2 学校等教育分野（個人1、団体1）

区分	対象者（年齢）	概要
個人	豊田 ^{のぶたか} 紳敬 (66歳)	<p><推薦元：広島県医師会></p> <p>産婦人科医として診療を行う傍ら、熊野町食育推進計画に平成20年から現在まで15年以上委員として携わり、重点目標とする「健康寿命の延伸」に向けて、子どもの頃からの生活習慣病予防の取り組みに医師の立場から助言等を行い、地域の食育ネットワークの構築に多大な貢献をしている。</p> <p>かかりつけ医・学校医等の活動を通じて、ライフステージに応じた食育の知識を深めてもらうため、妊娠期、学童期等での生活指導など、積極的な働きかけを行っている。特に妊娠中の食習慣における健康課題にも積極的に取り組んでいる。</p>

<p>団体</p>	<p>広島文化学園短期大学食物栄養学科 (昭和 42 年開学)</p>	<p><推薦元：広島文化学園短期大学></p> <p>平成 18 年度から、一人暮らし高齢者を対象に社会福祉協議会と連携した弁当の配食サービスを、平成 20 年度からはクリスマス会を実施している。</p> <p>食物栄養学科の教員の指導の下、栄養士を目指す 1 年生全員（約 50 名）が関わり、参加した学生はのべ 820 名である。</p> <p>10 月～2 月にかけては月 1 回のお弁当配食サービスを行う。 12 月は高齢者を大学に招き、クリスマス会を開催した。フルコース料理の献立考案、調理、食事サービスを実施した。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響で、令和 2 年度以降のクリスマス会は、学生手作りのお菓子やカードを高齢者の自宅に届ける活動に変更したが、一人暮らし高齢者が楽しみにする行事として定着している。</p> <p>将来、栄養士として社会で活躍する学生達の実践力を身に付ける機会であり、自らや地域の方への食育の推進に役立っている。</p>
-----------	---	---

3 農林水産業分野（団体 1）

区分	対象者（年齢）	概要
<p>団体</p>	<p>尾道市立重井小学校 (明治 8 年開校)</p>	<p><推薦元：尾道市教育委員会教育指導課></p> <p>平成 21 年度から、第 5 学年の総合的な学習の時間において、社会科の「日本の農業」の学習を基盤として、「ふるさと重井町」の農業についての教育内容を作成している。</p> <p>重井町の特産物を、地域内外の人へ発信していく計画を立てたり、重井町の特産物やそれが特産物になった理由などを調べたりしながら、地域の農業者の指導を受け、ワケギの栽培活動、販売活動も行っている。</p> <p>ワケギ栽培を通じた学びについて児童にアンケートを実施したところ、「農家の人の苦労がわかった。」「作物を作ってくれる人に感謝できるようになった。」「重井の特色に気づいた。」との声が多くあり、農への理解と食に関する関心が高まった。</p> <p>またこの活動は、地域の伝統と文化、人々の暮らしについて幅広く知り、「ふるさとを大切に作る心」、「ふるさとを愛する心」を育て、スクールプライド、シビックプライドを培うことにつながっている</p>